

【サッポロ・ロジスティクス★人づくり大学

第 4 期発表会、修了式】

サッポログループでは、ロジスティクス改革を推進する人財の育成・強化を目指し、「ロジスティクスは経営そのものである」という理念のもと、2019 年より社内公募型の「サッポロ・ロジスティクス★人づくり大学（通称：ロジ大）」を運営しております。

第 4 期となる本年は、グループ各社（サッポロビール、ポッカサッポロフード&ビバレッジ、サッポログループ物流）から 18 名が集い、4 月 20 日に開校式、11 月 24 日にグループワークの発表会・修了式を執り行いました。

受講生は前半 4～7 月はオンライン形式のロジスティクス基礎講座の受講や、著名な方をお招きして開催しているオープンセミナーに参加しました。7～8 月にはチームに分かれてケーススタディに取り組み、大学院で使用するテキストを用いてチームでの討議や、発表を通じて検討した施策を競い合いました。

後半となる 8 月 30 日からは最終グループワークに取り組み、グループワークテーマである「サプライチェーンの清流化・平準化を目的に、従来の発想を超えたアイデア・創造により、サッポログループの 5 年先を考えて、課題と取るべき施策を提言する」について、4 つのグループに分かれて活動・研究・調査を重ねました。

その他、特別企画として 6～7 月に東京理科大学と連携し、当社からの講義の他、ロジ大受講生

と同大の現役学生 18 名が、物流実務についてディスカッションするプログラムを開催しました。学生にメーカー物流の重要性とロジスティクスの醍醐味を体験してもらい、ロジ大受講生には大学生の柔軟な発想力や日頃の勉強内容や知識に触れ、互いに刺激を与え合うことができました。

また本年も日清食品社と共同企画し、「今後実現したいサプライチェーン上におけるアライアンスについて」を議題に NISSIN SCM Academy（* 1）生とロジ大受講生とのグループディスカッションを開催いたしました。

11 月 24 日の最終発表会では、4 つのグループから、サッポログループ各社の社長をはじめとする役員や事業場長へ提言を行い、先見性・革新性のある内容とし、評価を受けました。

修了式では、ロジ大学長を務める当社社長の田島より、「ロジ大開講当初の目的はロジスティクス部門の人財底上げであったが、バリューチェーン横断型で改善・改革を進めることができるような人的ネットワークの構築も大きな目的となっている。その一員となったことを忘れずに、所属の各社各部署に戻ってからより一層活躍してほしい。」と激励の言葉が送られ、ロジ大第 4 期を締めくくりました。

当社では、今後もロジスティクス課題をグループ全体の重要な経営課題として捉え、基盤となるロジスティクス人財の育成を推進して参ります。

* 1 NISSIN SCM Academy とは、日清食品社が取り組んでいる、SCM 領域の次世代リーダーを育成する社内大学。



※本年は会場内の人数を調整し、また換気に留意しつつ対面（一部メンバーは Teams）にて最終発表と修了式を行いました。